

電力土木技術海外調査事業(第40回)

ご 案 内

電力土木技術協会では過去39回にわたり電力土木技術海外調査事業を実施し、多数の会員の参加協力を得て、多大な成果を上げて参りました。本年度は、調査テーマを「オーストラリアにおける二酸化炭素排出抑制技術、水力発電用ダムの改造・補強等に関する実態調査」として、現地調査や専門家との意見交換を実施するものです。

なお、日程および訪問先は事務局案であり、調査の詳細は参加者で構成する調査委員会を設置して検討することになっています。このため、詳細計画を調査委員会で審議・決定するための期間が必要となりますので、募集締め切りを平成29年6月上旬とさせていただきます。

本事業は当協会の過去の経験と実績および海外調査事業検討部会が調査した最新情報に基づいて実施するもので、個人調査では実現不可能な内容であり、必ずご満足が得られるものと確信しています。中堅・若手技術者の皆様も奮って本事業へのご参加をお勧め申し上げます。

1. 主 旨

昨今の我が国の電力需給の現況を踏まえれば、発電に伴う二酸化炭素の排出量の低減、災害に強い発電設備の構築は、喫緊の課題であると共に、今後も、継続して対処することが重要となっています。

今回の調査先として選定したオーストラリアは、化石燃料(石炭、LNG等)に恵まれ、発電される電気の約9割が化石燃料(主として石炭火力)起源であることから、これを踏まえ、温室効果ガスの排出量を2050年までに2000年比で80%削減するという目標を掲げ、技術開発とその実用化に取り組んでいます。

また、オーストラリアでは、洪水評価やそれに伴うダムの改造・補強等の対策が数多く実施されており、これらのダムの耐力向上に関する知見は、洪水対策ばかりではなく、地震時の安全性向上にも通じる技術です。

本事業においては、石炭火力と二酸化炭素排出抑制技術をキーワードに、石炭火力と太陽熱複合発電、CCS実証試験サイト等を視察するとともに、災害に強い水力発電設備の構築に向け、ダムの改造・補強等の対策が実施されたサイトを視察し、現地調査や専門家との意見交換を通じて実態調査を行うものです。

2. 主な調査予定箇所(案)

- Kogan Creek Solar Boost Project : 2016年に運用を開始した石炭火力(750 MW)と太陽熱(44 MW)複合発電所
- Otway CCS 実証試験 : 天然ガスを採掘した後の枯渇ガス田に天然ガスから分離した二酸化炭素を圧入する実証試験
- Hydro Tasmania : タスマニア州の水力発電を中心とした発電会社(ダムの改造・補強等に関する意見交換)
- Ridgeway ダム : 上水供給用のコンクリートアーチダム(1918年竣工)、堤体の補強工事を実施中
- Catagunya ダム : Catagunya 発電所(50 MW)のコンクリート重力式ダム(1962年竣工)、2010年に堤体に設置されているアンカーを更新・補強
- Poatina 発電所 : グレート湖を水源とする 300 MW(50 MW×6)の水力発電所、2011年に水車・発電機を更新

3. 調査事業スケジュール

平成29年6月上旬	募集締切 (※平成29年7月10日まで延長致しました。)
平成29年7月上旬	調査委員会設立(同年9月まで、調査委員会を適宜開催)
平成29年10月	調査実施
平成30年1月	報告書(概要)締切(3月号等の「電力土木」誌に報告掲載)
平成30年3月	報告書締切

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 4. 調査日数 | 9日程度 |
| 5. 調査概算費用 | 85万円程度 |
| 6. 調査事業参加希望募集人員 | 20名(最小催行人員 10名) |

詳しい事業計画がご入用の方は下記宛にご連絡下さい。

調査事業参加条件(抜粋)

1. 参加費に含まれるもの

(1) 現地調査費

- a) 交通費：旅程表記載の海外航空運賃(ディスカウントエコノミークラス)
- b) 現地海外地上費：旅程表記載の海外に於ける宿泊費，専用バス代等
- c) 宿泊代：旅程表記載の宿泊料金及び諸税，サービス料
 ※3～4 星クラス(ファーストクラス)ホテル・1 人部屋 1 名様ご利用を基本とします
- d) 海外食事代：毎日 3 食(朝・昼・夕)の食事代金，税・サービス料，航空機内の食事を含む
- e) 視察費用：視察先へのアポイント取得のための諸手続費用及び通訳費用
- f) 諸経費：団体行動中に生ずるチップ・ポータレッシ費用
- g) その他：添乗員 1 名の同行費用

※ 上記費用に係わる消費税・諸税相当額を含みます。

(2) 会議費・報告書作成費他

2. 参加費に含まれないもの

- (1) 旅程表以外に行動される場合の費用
- (2) 渡航手続諸費用(旅券印紙代，ビザ代，渡航手続代行料金等)
- (3) 個人的性格の諸費用(電話代，クリーニング代，追加飲食費等)
- (4) 超過手荷物料金
- (5) 海外旅行傷害保険(各委員から JTB へ依頼をした個人用任意保険)
- (6) 空港施設使用料・燃油特別付加運賃
- (7) お飲み物代

3. 取 消 料：申込後，参加者の都合により参加を取消される場合は下記の取消料を支払いいただきます。

- (1) 出発の30日前から4日前まで _____ 参加費の 20%
- (2) 出発の3日前から当日まで _____ 参加費の 50%
- (3) 無連絡および旅行開始後の解除 _____ 参加費の100%

キ リ ト リ

電力土木技術海外調査事業(第40回) 参加申込書

申込年月日 平成 年 月 日

フリガナ 氏 名		男・女	昭和 平成	年	月	日	生 年
自宅住所	〒 _____ TEL _____						
勤 務 先	会社名	_____					
	所属・ 役職名	_____					
	住 所	〒 _____					
	TEL	_____ FAX _____					
E-mail	_____						
ビジネスクラス希望	有		無				

電力土木技術海外調査事業(第40回) オーストラリア調査行程(案)

月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	スケジュール	食事
1 2017年 10月14日 (土)	東京(羽田空港) 東京(羽田空港)発	20:00 22:00	QF026	羽田空港国際線ターミナルJTBカウンターご集合 空路、直行便にてシドニーへ移動 (所要時間9時間25分 時差+2時間) 〈機内泊〉	機内食
2 10月15日 (日)	シドニー着 シドニー発 モーリー着	9:25 17:30 19:05	FLYCORP 専用車	入国手続き等 空路、モーリーへ移動 到着後、ホテルへ移動 〈モーリー泊〉	昼食:○ 夕食:○
3 10月16日 (月)	モーリー		専用車	各自ホテルにてご朝食 視察先へ移動(所要時間1時間30分程度) ■業務視察 ・〈調整中〉 視察後、ホテルへ移動 〈モーリー泊〉	朝食:○ 昼食:○ 夕食:○
4 10月17日 (火)	モーリー ブリスベン		専用車	各自ホテルにてご朝食 視察先へ移動(所要時間4時間程度) ■業務視察 ・Kogan Creek Solar Boost Project 視察後、ブリスベンへ移動 (所要時間4時間程度 時差-1時間) 〈ブリスベン泊〉	朝食:○ 昼食:○ 夕食:○
5 10月18日 (水)	ブリスベン ブリスベン発 メルボルン着	7:00 10:25	シャトルバス QF609 専用車	各自ホテルにてご朝食 空港へ移動 空路、メルボルンへ移動 (所要時間2時間25分 時差+1時間) 到着後、視察先へ移動(所要時間3時間30分程度) ■業務視察 ・Otway CCS 実証試験 視察後、ホテルへ移動 〈メルボルン泊〉	朝食:○ 昼食:○ 夕食:○
6 10月19日 (木)	メルボルン メルボルン発 ホバート着	8:15 9:30	専用車 QF1501 専用車	各自ホテルにてご朝食 空港へ移動 空路、ホバート(タスマニア島)へ移動 (所要時間1時間15分) 到着後、視察先へ移動 ■業務視察 ・Hydro Tasmania ・Ridgeway ダム 視察後、ホテルへ移動 〈ホバート泊〉	朝食:○ 昼食:○ 夕食:○
7 10月20日 (金)	ホバート		専用車	各自ホテルにてご朝食 視察先へ移動(所要時間3時間程度) ■業務視察 ・Catagunya ダム ・Poatina 発電所 視察後、ホテルへ移動(所要時間2時間30分程度) 〈ホバート泊〉	朝食:○ 昼食:○ 夕食:○
8 10月21日 (土)	ホバート ホバート発 シドニー着 シドニー発	15:50 17:40 21:45	専用車 QF1584 乗り継ぎ QF025	各自ホテルにてご朝食 出発まで、書類整理 空港へ移動 空路、シドニー空港経由にて羽田空港へ移動 (シドニー空港までの所要時間1時間50分) 空路、羽田空港へ移動 (所要時間9時間30分 時差-2時間) 〈機内泊〉	朝食:○ 昼食:○ 夕食:一
9 10月22日 (日)	東京(羽田空港)着	5:15		到着後、解散	機内食

ご注意:発着時間、交通機関等は変更になる場合がございます。また、時差については、日本との時差を記載しております。

QF:カンタス航空